図書館 今月のピックアップ

司書おすすめの２冊を紹介します！

「なぞかけ遊園地」

理論社
ねずっち：著

『なぞかけ』は、「○○とかけて、××ととく、その心は？」という、ふたつの言葉を結びつけるオチを考える言葉遊びです。例えば、「カプセルトイとかけて、焼き鳥の種類ととく、その心は、どちらも○○があります」。さて正解は…？「なぞかけ遊園地」に答えが書いてありますので、ぜひ本を読んでみてください。子どもから大人まで楽しめる、１冊ぜんぶ「なぞかけ」の本です。

「はしごしゃののびるくん」

岩崎書店
正高　もとこ：作／鎌田　歩：絵

消防車や救急車が主役の絵本は色々ありますが、この絵本の主役は「はしご車」です。40 メートルの高さまではしごを伸ばすことができ、どんな向きにも動かすことができます。ところが、消防に通報があるたびに出動するのは、仲間の車たちばかりで、「はしご車ののびるくん」にはなかなか出番がありません。がっかりしている「のびるくん」でしたが…。車が大好きなお子さんへの読み聞かせにぴったりの絵本です。

図書館からのお知らせ

●スペシャル展示コーナー「探偵小説特集」

今年は、数々の探偵小説を生み出した横溝正史の没後 40 年にあたります。名探偵といえば…？という問いにいろいろな小説に登場する名探偵を思い浮かべる方も多いのではないでしょうか。人気作はドラマ化や映画化もされていますので、探偵役の俳優が思い浮かぶ方もいらっしゃるかもしれません。玄関からすぐの特設コーナーに探偵小説を一堂に集めて展示いたします。有名無名問わず、名探偵の活躍をどうぞお楽しみください。

●雑誌・一般書・児童書の無償提供

11 月３日㈬の文化の日から約 10 日間、雑誌の無償提供を行います。場所は、図書館カウンター前です。提供雑誌の発行期間は、2020 年４月～2021 年３月までです。

ラインナップは「きょうの料理」「趣味の園芸」「クロワッサン」など…お一人様・３冊までとなります。NHK の雑誌は、一家族・１冊までです。

また、『児童書フリーマーケット』『図書リサイクル市』も同時開催し、一般書・児童書を無償で提供します。こちらも、お一人様・３冊までです。

●丸テーブルの展示

11 月の丸テーブルの展示テーマは「星座・宇宙」です。空気が澄んで夜空の星を眺めるのにうってつけの季節となりました。

図書館では、天体望遠鏡の使い方や、星空の写真の撮り方などのほか、星座にまつわる物語、宇宙の不思議まで、さまざまな星や宇宙に関する本を集めて展示いたします。子どもから大人まで楽しめるコーナーをぜひご覧ください。

●児童室前の絵本展示

11 月の児童室前の絵本展示のテーマは「秋の絵本」「七五三」の２本立てです。

いもほり大会に参加する七つ子のねずみの親子が、大きなさつまいもほりに奮闘する様子を描いた「ねずみのいもほり」。

くりのきえんの子どもたちは全員５歳になりました。元気な動物の子どもたちの七五三参りを描いた「みんなげんきで七五三」。

楽しい絵本がいっぱいです。どうぞ、手に取ってご覧ください。

体　験 アドベンチャークラブ 二本松で秋の自然観察

10 月９日㈯、二本松市でアドベンチャークラブ第２回活動「秋の自然観察」が行われました。

午前はあだたら渓谷自然遊歩道の散策、午後は福島県森の案内人の会に講師を依頼してフォレストパークあだたらで木工クラフト体験や森林観察を行い、参加者は講師の方のお話を興味津々に聞いていました。

雨天ではありましたが、参加者は自然と触れ合い、森林の大切さを学んでいました。

大会結果 市町村対抗ソフト大会 ２回戦で惜しくも敗退

第８回市町村対抗福島県ソフトボール大会は、相馬市の相馬光陽ソフトボール場で開催され、鏡石町は 10 月 16 日㈯の１回戦で強豪・会津若松市と対戦しました。鏡石町は初回の菊地選手のホームランもあり、９対７（三回時間切れ）で勝利しました。

続く２回戦は 10 月 24 日㈰、南会津町と対戦しました。選手の多くが大会日程順延の影響を受け参加できず、20 対５（４回コールド）で敗れましたが、次年度へつながる健闘でした。

牧場のあーさー♪と行く “まちの文化財探訪記”

鏡石町内には、先人たちの残した貴重な文化財が数多くあり、次の世代に伝えるため、保護・保存には町民の皆さんの協力が必要です。

『温故知新』 新しきまちづくりの糧となることを願い、町の文化財を紹介していきます。さあ、皆さんも牧場のあーさー♪と一緒に文化財を訪ねましょう。

【第６回】江泉（深内）館跡板碑群

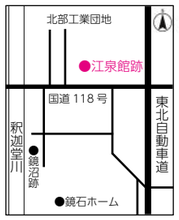
（所在地：深内町地内）

今回は、前回紹介した「江泉館跡」から発見された「江泉（深内）館跡板碑群」を紹介します。

この板碑群は、江泉館の南側斜面の帯郭の中段よりやや下位の帯部から発見されました。江泉館跡の基礎調査時に発見されたもので、その数は 44 基に登ります。これらの板碑は、主に隣接する金山館南脚部付近より切り出された凝灰岩を部材として作成されたものと考えられ、多くはそのもろさから破損し、刻字等も風雪のため崩れ、消滅してしまっています。

江泉館板碑の中で、年紀が読み取れるのは３基のみで種子（仏様を「梵字」という文字で表したもの）とも読み取れるのは２基のみです。

これらの板碑群発掘調査中、地中約 20cm の地点から、関東秩父地方特産の緑泥片岩（りょくでいへんがん）で作成された「緑泥片岩板碑（りょくでいへんがんいたび）（高さ 46.3cm、幅 16.3cm、厚さ 1.9cm、重量 2.43kg）」が１基発見されています。この板碑の発見により、江泉館在住の武士と、関東ないし鎌倉府との交流や、江泉館を支城とした城主二階堂氏の動向について考察することができ、大変興味深いものとなっています。



なお、この「緑泥片岩板碑」は、現在鏡石町歴史民俗資料館に展示中です。

●問い合わせ先
町公民館　☎ 62-2031